## 日別の需要想定・需給状況・再工ネ出力抑制の必要性①

(単位:万kW)

(単位:力KV	場所		関西エリア			
	1154 115	別指令計	画時の下げ調整力最小時刻(※)	6月4日(日) 12時30分~13時00分		
				【需要想定】		
	年月日	(曜日)			機械学習した需要想定	
	天候		晴	モデルに気象予想・カレ ンダー情報を入力し、		
需要想定	気温(℃	C)	24.8	「最大需要-平均気温		
	需要想定	<b>官値(</b> ※	1306.2	の相関図」や他手法結 果も踏まえ総合評価		
				【出力想定】		
	日射量推	定実績(	3.2			
	出力換	算係数	特高	0.948~0.950		
太陽光の	(kwh/kw	/m²/kW)	高低圧(全量・余剰)	0.840~0.846		
出力	出力実績値 (万kW)		②特高+高低圧(全量・余剰)	448.1		
	合	計4		448.1		
			特高	21.5		
国士へ	設備量(	(万kW)	高圧以下	0.5		
風力の	出力熱	 思定値				
出力想定	(万)		③特高+高圧以下	0.5		
		<b>計</b> ⑤		0.5		
				【前日計画】	【当日見直し】	
		(F)	電源Ⅰ・Ⅱ(火力)	153.7		
		(G)	電源Ⅲ(火力)	99.9		
		(L)	原子力	487.9		
		(J)	一般水力	211.0		
	エリア	(H)	バイオマス専焼電源	4.8		
	供給力	(I)	地域資源バイオマス	5.0		
需給状況		(E-1)	太陽光②	448.1		
(万kW)		, ,	風力③	0.5		
		(E-2)	想定誤差量	80.7		
イメージ図は			給力計④	1,491.6		
「別紙3」		(A)	IJP需要①	1,306.2		
		揚水	(C-1) 揚水式発電機の揚水運転⑤	▲ 359.0		
	エリア	運転等	(C-2) 電源Ⅲ揚水式発電機の揚水運転⑥	0.0		
	需要等		(C-3) 電力貯蔵装置の充電⑦			
		域外	(B-1) 約定済みの域外送電電力®	221.0		
		<u>送電</u>	(B-2) 長周期広域周波数調整⑨	0.0		
		エリア需	要等計⑩=①-(⑤+⑥+⑦+⑧+⑨)	1,444.2		
\			TUT#₩÷	【前日計画】	【当日見直し】	
必要性			エリア供給力 計④ エリア需要等 計⑩	1,491.6		
(万kW)			ー エッグ 而安守 il (9)	1,444.2		
イメージ図は	<b></b>	2:m -	刊た <b>差量を織込んだ抑制必要量⑪=(④-⑩)</b>	0		
「別紙3」	(D),(d)	誤	47.4			

# 電力広域的運営推進機関 別紙1

#### 日別の優先給電ルールに基づく抑制、調整状況

	(※)差異理由 (a)燃料貯蔵の関係から抑制量減少 (b)燃料貯蔵の関係から抑制量増加 (C)試運転試験パターンに基づ(抑制量減少					
単位 : 万kW)				試験パターン(	こ基づく抑制量	
優先給電ルール		抑制、調整(1)			4日(日)	
	燃料	発電所		前日計画②		差異理由(※)
	石炭	舞鶴 舞鶴 姫路第一	25.2 0.0	85.8 0.0	0.0	(k)
<b>而添</b>		<b>姫路第二</b>	59.4	59.4	0.0	
電源 I · II 火力	LNG	南港	8.5	8.5	0.0	
,,,,		堺港	0.0	0.0	0.0	
LFC調整力2%	石油		0.0	0.0	0.0	
確保の発電所		112177	0.0	0.0	0.0	
					0.0	
					0.0	
		合計	93.1	153.7	60.6	
優先給電ルー	ルに基づく	抑制、調整(2)		6月4	4日(日)	
ECTORET OF	発電所	号機	揚水動力①	前日計画②		差異理由(※)
ť		1	▲ 32.3	▲ 32.3	0.0	, ,
	大河内	2	▲ 32.3	▲ 32.3	0.0	(1)
		3 4	▲ 32.3 ▲ 32.3	0.0 ▲ 32.3	32.3	(1)
		1	<b>▲</b> 32.3	<b>▲</b> 32.3	0.0	
		2	<b>▲</b> 32.2	<b>▲</b> 32.2	0.0	
	奥多々良木	4	▲ 30.2	0.0	30.2	(n)
揚水発電機の		5	<b>▲</b> 36.3	<b>▲</b> 36.3	0.0	
揚水運転		6 1	▲ 36.3 ▲ 23.2	<b>▲</b> 36.3 <b>▲</b> 23.2	0.0	
	喜撰山	2	<b>▲</b> 23.2	▲ 23.2 ▲ 21.5	0.0 1.7	(t)
		1	<b>▲</b> 20.1	▲ 20.1	0.0	
		2	▲ 20.1	▲ 20.1	0.0	
	奥吉野	3	<b>▲</b> 20.1	▲ 20.1	0.0	/\
		<u>4</u> 5	▲ 20.1 ▲ 20.1	0.0 ▲ 20.1	0.0	(r)
		6	▲ 20.1 ▲ 20.1	0.0	20.1	(r)
		合計		▲ 359.0		
優先給電ルール	ルに基づく	抑制、調整(3)	MARIA LANCO		4日(日)	<b>学用四本(2/2)</b>
電力貯蔵装置	の充電	対象設備なし	充電最大電力①	別日計画②	差異 (2-1)	差異理由(※)
優先給電ルール	ルに基づく	抑制、調整(4)		6月4	4日(日)	
		\$ EE E	最低出力①	*****	<b>≠</b> ■ (⊗ ⊗)	<b>美田畑市(ツ)</b>
		発電所	[出力率%]	前日計画②	差異 (2-1)	差異理由(※)
雷源皿(火力)						I
電源Ⅲ(火力)		火力	<u>*1</u> 97.9	99.9	2.0	(v)
電源Ⅲ(火力)		※1火力発電設備の補修停		99.9	2.0	(v)
電源Ⅲ(火力)		※1火力発電設備の補修停 止等を考慮した抑制日の最低 出力	97.9 [49%] (211.7)	99.9	2.0	(v)
電源Ⅲ(火力)		※1火力発電設備の補修停 止等を考慮した抑制日の最低	97.9 [49%]	99.9	2.0	(v)
	ルに基づく	※1火力発電設備の補修停 止等を考慮した抑制日の最低 出力	97.9 [49%] (211.7)			(v)
	ルに基づく	※1火力発電設備の補修停 止等を考慮した抑制日の最低 出力 ( ) 内は、全設備運転時 ( <b>抑制、調整 (5)</b>	97.9 [49%] (211.7) [41%]	6月4	4日(日)	
優先給電ルー	ルに基づく	※1火力発電設備の補修停 止等を考慮した抑制日の最低 出力 ( ) 内は、全設備運転時	97.9 [49%] (211.7)	6月4	4日(日)	(v) 差異理由(※)
優先給電ルー	ルに基づく	※1火力発電設備の補修停 止等を考慮した抑制日の最低 出力 ( ) 内は、全設備運転時 ( <b>抑制、調整 (5)</b>	97.9 [49%] (211.7) [41%]	6月4	4日(日)	
優先給電ルー		※1火力発電設備の補修停 止等を考慮した即制日の最低 加)() 內は、全設備運転時 (抑制、調整 (5) 発電所 揚水	97.9 [49%] (211.7) [41%] 揚水動力①	6月4前日計画②	4日(日) 差異 (2-1) 11.0	差異理由(※)
優先給電ルー		※1火力発電設備の補修停止等を考慮した抑制日の最低出力()內は、全設備運転時 (力內は、全設備運転時 (抑制、調整(5) 発電所	97.9 [49%] (211.7) [41%] 揚水動力①	6月4前日計画② 0.0	4日(日) 差異 (2-①)	差異理由(※)
優先給電ルー 電源Ⅲ(揚水)		※1火力発電設備の補修停 止等を考慮人に即制日の最低 出力 () 內は、全設備運転時 ( <b>抑制、調整 (5)</b> 発電所 揚水 ( <b>抑制、調整 (6)</b>	97.9 [49%] (211.7) [41%] 揚水動力① ▲ 11.0	6月4前日計画②	4日(日) 差異 (2-①) 11.0 4日(日)	差異理由(※)
優先給電ルー		※1火力発電設備の補修停止等を考慮した即制日の最低 出力 () 內は、全級備運転時 ( <b>抑制、調整 (5)</b> 発電所 揚水 ( <b>抑制、調整 (6)</b> 地域間連系線	97.9 [49%] (211.7) [41%] 揚水動力① ▲ 11.0	6月4前日計画②	4日(日) 差異 (2-①) 11.0 4日(日)	差異理由(※)
優先給電ルー。 電源皿(揚水) 優先給電ルー。	ルに基づく	※19人为発電設備の補修停 止等を考慮人が制日の最低 出力 () 內は、全設備運転時 ( <b>抑制、調整 (5)</b> 発電所 揚水 ( <b>抑制、調整 (6)</b> 地域間連系線 中部関西間連系線	97.9 [49%] (211.7) [41%] 湯水動力③ ▲ 11.0	6月4前日計画②	4日(日) 差異 (2-①) 11.0 4日(日)	差異理由(※)
優先給電ルー 電源皿(揚水) 優先給電ルー 長周期広域周波	ルに基づく	※1火力発電設備の補修停 止等を考慮人即制日の最低 加力 () 內は、全設備運転時 (抑制、調整 (5) 発電所 揚水 (抑制、調整 (6) 地域間連系線 中部関西間連系線 (三重東近江線)	97.9 [49%] (211.7) [41%] ▲ 11.0 ▲ 11.0 □ 11.0 □ 103.1 (200.0)	6月4 前日計画② 0.0 6月4 前日計画② 0.0	4日(日) 差異 (2-①) 11.0 4日(日) 差異 (2-①) ▲ 103.1	差異理由(※) (u)  差異理由(※) (g)
優先給電ルー 電源皿(揚水) 優先給電ルー	ルに基づく	※19人为発電設備の補修停 止等を考慮人が制日の最低 出力 () 內は、全設備運転時 ( <b>抑制、調整 (5)</b> 発電所 揚水 ( <b>抑制、調整 (6)</b> 地域間連系線 中部関西間連系線	97.9 [49%] (211.7) [41%] 揚水動力① ▲ 11.0 (空音報①※2 (運用容服) 103.1 (200.0) 0.0	6月4前日計画② 6月4前日計画②	4日(日) 差異(②-①) 11.0 4日(日) 差異(②-①)	差異理由(※) (u)  差異理由(※)
優先給電ルー、電源皿(揚水) 優先給電ルー、 長周期広域周波 (連系線法、 ※2 空音量 = (連	ルに基づく 数調整 用)	※12九角電路偏の補條停止等を自然した即制日の最低 () 內は、全級備運転時 ( <b>抑制、調整 (5)</b> 発電所 揚水 ( <b>抑制、調整 (6)</b> 地域間連系線 中部関西間連系線 (三重東近江線) 北陸関西間連系線 (越前領南線)	97.9 [49%] (211.7) [41%] 場付5時時点 空間第3 ※2 (銀用容割) 1 (200.0) 0.0 (0.0) 278.0	6月 前日計画2 0.0 6月 前日計画2 0.0	4日(日) 差異(②-①) 11.0 4日(日) 差異(②-①) ▲ 103.1 0.0	差異理由(※) (u)  差異理由(※) (g) (g)
優先給電ルー 電源皿(揚水) 優先給電ルー 長周期広域周波 (連系線活 *2 空容量 = (連 ・約定済みの域外	ルに基づく を数調整 用) <sup>用容量)</sup> 送電電力	※19人为學電設備の補修停止等を考慮した即制日の最低 () 內は、全該傳運転時 () 內は、全該傳運転時 () 內は、全該傳運転時 「伊利、調整 (5) 発電所 揚水 「伊利、調整 (6) 地域間連系線 中部関西間連系線 (超東西間連系線 (越前 領南線) 関西中国間連系線	97.9 [49%] (211.7) [41%] 揚水動力① ▲ 11.0 □ 11.0 □ 20.0 □ 0.0 □ 0.0 □ 0.0 □ 278.0 (278.0)	6月4 前日計画② 0.0 6月4 前日計画② 0.0	4日(日) 差異 (2-①) 11.0 4日(日) 差異 (2-①) ▲ 103.1	差異理由(※) (u)  差異理由(※) (g)
優先給電ルー 電源皿(揚水) 優先給電ルー 長周期広域周波 (連系線活 *2 空容量 = (連 ・約定済みの域外	ルに基づく を数調整 用) <sup>用容量)</sup> 送電電力	※1火力発電設備の補修停止等を考慮人力制制の最低。 () 內は、全級備運転時 ( <b>抑制、調整 (5)</b> 発電所 揚水 <b>援加制、調整 (6)</b> 地域間連系線 (三重東近江東線 (越前領南線) 関西中国間連系線 関西中国間連系線 関西四国間連系線	97.9 [49%] (211.7) [41%] 場本動力① ▲ 11.0 (200.0) 0.0 (0.0) 278.0 (278.0) 140.0	6月 前日計画2 0.0 6月 前日計画2 0.0	4日(日) 差異(②-①) 11.0 4日(日) 差異(②-①) ▲ 103.1 0.0	差異理由(※) (u)  差異理由(※) (g) (g)
優先給電ルー 電源皿(揚水) 優先給電ルー 長周期広域周波 (連系線活 *2 空容量 = (連 ・約定済みの域外	ルに基づく を数調整 用) <sup>用容量)</sup> 送電電力	※1火力発電設備の補修停止等を考慮人力制力の最低。 () 內は、全級備運転時 () 內は、全級備運転時 () 內は、全級備運転時 () 預制、調整 (5) 発電所 揚水 () 期期 調整 (6) 地域間連系線 (三重東近江線) 北陸関西間連系線 (越前前南線) 関西中国間連系線 (阿南紀北直流幹線)	97.9 [49%] (211.7) [41%] 湯水動力① ▲ 11.0 □ 11.0 □ 103.1 (200.0) 0.0 (0.0) 278.0 (278.0 (278.0 (140.0)	6月 前日計画2 0.0 6月 前日計画2 0.0 0.0 0.0	4日(日) 差異(②-①) 11.0 4日(日) 差異(②-①) ▲ 103.1 0.0 ▲ 278.0	差異理由(※) (u) <b>差異理由(※)</b> (g) (g) (g)
優先給電ルー 電源皿(揚水) 優先給電ルー 長周期広域周波 (連系線活 *2 空容量 = (連 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ルに基づく を数調整 用) <sup>用容量)</sup> 送電電力	※1火力発電設備の補修停止等を考慮人力制制の最低。 () 內は、全級備運転時 ( <b>抑制、調整 (5)</b> 発電所 揚水 <b>援加制、調整 (6)</b> 地域間連系線 (三重東近江東線 (越前領南線) 関西中国間連系線 関西中国間連系線 関西四国間連系線	97.9 [49%] (211.7) [41%] 場本動力① ▲ 11.0 (200.0) 0.0 (0.0) 278.0 (278.0) 140.0	6月 前日計画② 0.0 6月 前日計画② 0.0 0.0	4日(日) 差異 (②-①) 11.0 4日(日) 差異 (②-①) ▲ 103.1 0.0 ▲ 278.0	差異理由(※) (u) <b>差異理由(※)</b> (g) (g) (g)
優先給電ルー、電源皿(揚水) 優先給電ルー、 長周期広域周辺 (連系線活、※2 空音器 = (連 ー 対定済みの域外 - マージン (ΔΚWマー	ルに基づい 数調整用) 明容量) 送電電力 ジン含む)	※1火力発電設備の補修停止等を考慮人力制制口品低無力()內は、全設備運転時(初制)調整(5)発電所揚水 (抑制、調整(6)地域間連系線(三重東近江線)北陸関西間連系線(三重東近江線)間連平系線(越前領南線)関西中国間連系線(阿南紀北直流幹線)	97.9 [49%] (211.7) [41%] 湯水動力① ▲ 11.0 □ 11.0 □ 11.0 □ 11.0 □ 20.0 □ 0.0 (200.0) 0.0 (200.0) 0.0 (278.0) 140.0 (140.0) (140.0) (140.0)	6月4 前日計画2 0.0 6月4 前日計画2 0.0 0.0 0.0	4日(日) 差異 (②-①) 11.0 4日(日) 差異 (②-①) ▲ 103.1 0.0 ▲ 278.0 ▲ 140.0	差異理由(※) (u) <b>差異理由(※)</b> (g) (g) (g)
優先給電ルー、電源皿(揚水) 優先給電ルー、 長周期広域周辺 (連系線活、※2 空音器 = (連 ー 対定済みの域外 - マージン (ΔΚWマー	ルに基づい 数調整用) 明容量) 送電電力 ジン含む)	※1火力発電設備の補修停止等を考慮人力制力の最低。 () 內は、全級備運転時 () 內は、全級備運転時 () 內は、全級備運転時 () 預制、調整 (5) 発電所 揚水 () 期期 調整 (6) 地域間連系線 (三重東近江線) 北陸関西間連系線 (越前前南線) 関西中国間連系線 (阿南紀北直流幹線)	97.9 [49%] (211.7) [41%] 湯水動力① ▲ 11.0 ※回答解心※2 (第四容解)×2 (第四容解)×2 (第四apper (第四apper (第四apper (第四apper (第四apper (2 (第四apper (2 (2 (2 (2 (2 (2 (2 (2 (2 (2	6月4 前日計画2 0.0 6月4 前日計画2 0.0 0.0 0.0	4日(日) 差異(②-①) 11.0 4日(日) 差異(②-①) ▲ 103.1 0.0 ▲ 278.0	差異理由(※) (u) <b>差異理由(※)</b> (g) (g) (g)
優先給電ルー、電源皿(揚水) 優先給電ルー、 長周期広域周辺 (連系線活、※2 空音器 = (連 ー 対定済みの域外 - マージン (ΔΚWマー	ルに基づい 数調整用) 明容量) 送電電力 ジン含む)	※12九角電影偏の補條停止等を考慮した即制日の最低 () 內は、全級偏速転時 () 內は、全級偏速転時 () 內は、全級偏速転時 場水 () 野電所 場水 () 地域間連系線 () 一重期連系線 () 三重東近江球線) 北陸関西間連系線 () 越前領南線) 関西四国間連系線 (阿南紀北直流幹線) 合計 () 四利、調整 (7)	97.9 [49%] (211.7) [41%] 湯水動力① ▲ 11.0 □ 11.0 □ 11.0 □ 11.0 □ 20.0 □ 0.0 (200.0) 0.0 (200.0) 0.0 (278.0) 140.0 (140.0) (140.0) (140.0)	6月4 前日計画2 0.0 6月4 前日計画2 0.0 0.0 0.0	4日(日) 差異 (②-④) 11.0 4日(日) 差異 (②-④) ▲ 103.1 0.0 ▲ 278.0 ▲ 140.0 ▲ 521.1	差異理由(※) (u)  差異理由(※) (g) (g) (g) (g) —
優先給電ルー、電源皿(揚水) 優先給電ルー、 長周期広域周辺 (連系線活、※2 空音器 = (連 ー 対定済みの域外 - マージン (ΔΚWマー	ルに基づい 数調整用) 明容量) 送電電力 ジン含む)	※19人內學電設備の補條停止等を考慮した即制日の最低 () 內は、全該備運転時 () 內は、全該備運転時 「抑制、調整 (5) 発電所 揚水 「抑制、調整 (6) 地域間連系線 (三重東近江線) 北陸関西間連系線 (越前領面線) 関西中国間連系線 (阿西紀出直流幹線) 南西四国間直来線 (阿南紀北直流幹線) 合計 「抑制、調整 (7) 電源合計	97.9 [49%] (211.7) [41%] 湯木動力① ▲ 11.0 ■ 11.0 ■ 11.0 ● 11.0 ● 20.0 ○ 0.0 (200.0) 0.0 (278.0) 140.0 (140.0) (140.0) (140.0) (140.0) 6世紀 ○ 21.1 (618.0)	6月 前日計画② 0.0 6月 前日計画② 0.0 0.0 0.0 0.0	4日(日) 差異 (②-④) 11.0 4日(日) 差異 (②-④) ▲ 103.1 0.0 ▲ 278.0 ▲ 140.0 ▲ 521.1	差異理由(※) (u) <b>差異理由(※)</b> (g) (g) (g)
優先給電ルー、電源皿(揚水) 優先給電ルー、 長周期広域周辺 (連系線活、 ※2 空容量 ( 運 ー 約定済みの域外 ー マージン (ΔΚWマー	ルに基づく を数調整 用) <sup>田容量)</sup> 送電電力 ジン含む)	※1火力発電設備の補修停止等を当能人力制力の最低 以下的は、全致備運転的 ()的は、全致備運転的 (抑制、調整 (5) 発電所 揚水 (抑制、調整 (6) 地域間連承線 中部質声間連承線 (越前前南線) 関西中国間連承線 (阿南紀北直流幹線) 合計 (抑制、調整 (7) 電源合計 ※3 発電設備の補修停止等	97.9 [49%] (211.7) [41%] 湯水動力① ▲ 11.0 ※ 11.0 ※ 11.0 ※ 10.1 (200.0) 0.0 (200.0) 278.0 (278.0) 140.0 (140.0)	6月 前日計画② 0.0 6月 前日計画② 0.0 0.0 0.0 0.0	4日(日) 差異 (②-④) 11.0 4日(日) 差異 (②-④) ▲ 103.1 0.0 ▲ 278.0 ▲ 140.0 ▲ 521.1	差異理由(※) (u)  差異理由(※) (g) (g) (g) (g) —
優先給電ルー、電源皿(揚水) 優先給電ルー、 長周期広域周波 (連系線活。 ※2 空容量 = (連・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ルに基づく を数調整 用) <sup>田容量)</sup> 送電電力 ジン含む)	※12人为発電設備の補修停止等を考慮人力制制口の最低 以下的は、全級機運転時 (如制、調整 (5) 発電所 揚水 (如制、調整 (6) 地域間連系線 (三重東近田連系線 (三重東近田連系線 (越前前南線) 関西中国間連系線 (阿南紀北直流幹線) 合計 (抑制、調整 (7) 電源合計 ※3 発電設備の補修停止等 を考慮した即制口の最低出	97.9 [49%] (211.7) [41%] 湯木動力① ▲ 11.0 ■ 11.0 ■ 11.0 ● 11.0 ● 20.0 ○ 0.0 (200.0) 0.0 (278.0) 140.0 (140.0) (140.0) (140.0) (140.0) 6世紀 ○ 21.1 (618.0)	6月4前回2 0.0 6月4前回2 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 6月4 前日計画2 4.5	4日(日) 差異 (②-①) 11.0 4日(日) 差異 (②-①) ▲ 103.1 0.0 ▲ 278.0 ▲ 140.0 ▲ 521.1 4日(日) 差異 (②-①)	差異理由(※) (u)  差異理由(※) (g) (g) (g) (g) —
優先給電ルー、電源皿(揚水) 優先給電ルー、 長周期広域周波 (連系線活。 ※2 空容量 = (連・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ルに基づく を数調整 用) <sup>田容量)</sup> 送電電力 ジン含む)	※1火力発電設備の補修停止等を当能人力制力の最低 以下的は、全致備運転的 ()的は、全致備運転的 (抑制、調整 (5) 発電所 揚水 (抑制、調整 (6) 地域間連承線 中部質声間連承線 (越前前南線) 関西中国間連承線 (阿南紀北直流幹線) 合計 (抑制、調整 (7) 電源合計 ※3 発電設備の補修停止等	97.9 [49%] (211.7) [41%] 湯水動力① ▲ 11.0 □ 11.0 □ 11.0 □ 12.0 □ 12.0 □ 13.0 □ 14.0 □ 140.0 □ 140.0	6月 前日計画② 0.0 6月 前日計画② 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	4日(日) 差異 (②-①) 11.0 4日(日) 差異 (②-①) ▲ 103.1 0.0 ▲ 278.0 ▲ 140.0 ▲ 521.1 4日(日) 差異 (②-①)	差異理由(※) (u)  差異理由(※) (g) (g) (g) (g) —
優先給電ルー、 電源皿(揚水) 優先給電ルー、 「会局期広域線法」 ※2 空容量 = (画 ・8)定第2の域外 -マージン (ΔkWマー 原先給電ルー、 パイオマス専物	ルに基づく を数調整 用) 明答電電力 ジン合む)	※1火力発電設備の補修停止等を考慮人力制制口の最低 () 內は、全級備運転時 () 內は、全級備運転時 () 內は、全級備運転時 場水 () 內は、全級備運転時 場水 () 一類制、調整 (5) 地域間連承線 () 一型工工業線 () 一型工工業線 () 一型工工業線 () 一型工工業線 () 四面配工工業線 () 四面配工工業線 () 四面配工工業線 () 四面配工工業線 () 四面配工工業線 () 四面配工工業線 () 四面配工工業線 () 四面配工工業線 () 四面配工工業線 () 四面配工工業等 () 四面配工工工業等 () 四面配工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工	97.9 [49%] (211.7) [41%] 湯水動力① ▲ 11.0 ※ 11.0 ※ 11.0 ※ 10.1 (200.0) 0.0 (200.0) 278.0 (278.0) 140.0 (140.0)	6月 前日計画② 0.0 6月 前日計画② 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 6月 前日計画② 4.5 0.3 4.8	4日(日) 差異 (②-①) 11.0 4日(日) 差異 (②-①) ▲ 103.1 0.0 ▲ 278.0 ▲ 140.0 ▲ 521.1 4日(日) 差異 (②-①) 1.0	差異理由(※) (u)  差異理由(※) (g) (g) (g) (g) —
優先給電ルー、 電源皿(揚水) 優先給電ルー、 「会局期広域線法」 ※2 空容量 = (画 ・8)定第2の域外 -マージン (ΔkWマー 原先給電ルー、 パイオマス専物	ルに基づく を数調整 用) 明答電電力 ジン合む)	※12人为発電設備の補修停止等を考慮人力制制口品低 此等之有態人作即制口の最低 近期	97.9 [49%] (211.7) [41%] 湯水動力① ▲ 11.0 □ 11.0 □ 11.0 □ 12.0 □ 12.0 □ 13.0 □ 14.0 □ 140.0 □ 140.0	6月 前日計画② 0.0 6月 前日計画② 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 6月 前日計画② 4.5 0.3 4.8	4日(日) 差異(②-①) 11.0 4日(日) 差異(②-①) ▲ 103.1 0.0 ▲ 278.0 ▲ 140.0 ▲ 521.1 4日(日) 差異(②-①) 1.0	差異理由(※) (u)  差異理由(※) (g) (g) (g) (g) —
優先給電ルー、 電源皿(揚水) 優先給電ルー、 「会局期広域線法」 ※2 空容量 = (画 ・8)定第2の域外 -マージン (ΔkWマー 原先給電ルー、 パイオマス専物	ルに基づく を数調整 用) 明答電電力 ジン合む)	※12人为発電設備の補修停止等を考慮人力制制口の最低 上等を考慮人力制制口の最低 上等を考慮した判制 1 別整 (5) 発電 所 揚水 ( 四十	97.9 [49%] (211.7) [41%] 湯水動力① ▲ 11.0 ■115時時点 の空音量①※2 (連用容割) 1(200.0) 0.0 (278.0) 140.0 (140.0) 521.1 (618.0) 会際した最低 出力電※3 出力電※3 ころできる。2 に対する。3.5 「76%] 3.5	6月 前日計画② 0.0 6月 前日計画② 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 6月 前日計画② 4.5 0.3 4.8	4日(日) 差異(②-①) 11.0 4日(日) 差異(②-①) ▲ 103.1 0.0 ▲ 278.0 ▲ 140.0 ▲ 521.1 4日(日) 差異(②-①) 1.0 	差異理由(※) (u)  差異理由(※) (g) (g) (g) —  差異理由(※)
優先給電ルー、電源Ⅲ(揚水) 優先給電ルー、 長周期広域線法 (連系線法 ※2 空音量 = (運・ ※2 空音量 - (運・ を対定策みの域外 - マージン (ΔkWマー	ルに基づく を数調整 用) 明答電電力 ジン合む)	※1火力発電設備の補修停止等を考慮人力制制口の最低 () 內は、全級備運転時 () 內は、全級備運転時 () 內は、全級備運転時 場水 () 內は、全級備運転時 場水 () 一類制、調整 (5) 地域間連承線 () 一型工工業線 () 一型工工業線 () 一型工工業線 () 一型工工業線 () 四面配工工業線 () 四面配工工業線 () 四面配工工業線 () 四面配工工業線 () 四面配工工業線 () 四面配工工業線 () 四面配工工業線 () 四面配工工業線 () 四面配工工業線 () 四面配工工業等 () 四面配工工工業等 () 四面配工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工	97.9 [49%] (211.7) [41%] 湯水動力① ▲ 11.0 過日15時時点 の空管器①※2 (選用容器) 103.1 (200.0) 0.0 (200.0) 278.0 (278.0) (140.0) 521.1 (618.0) 合意した最低 出力の※3 [世力率%] 3.5 [76%] 3.5	6月 前日計画② 0.0 6月 前日計画② 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 6月 前日計画② 4.5 0.3 4.8	4日(日) 差異(②-①) 11.0 4日(日) 差異(②-①) ▲ 103.1 0.0 ▲ 278.0 ▲ 140.0 ▲ 521.1 4日(日) 差異(②-①) 1.0 	差異理由(※) (u)  差異理由(※) (g) (g) (g) (g) —
優先給電ルー、電源皿(揚水) 優先給電ルー、 優先給電ルー、 長周期広域陽話 (連系線の域外 - 利り定済のの域外 - マージン (ΔκWマー  「バイオマス専り	ルに基づく 数数調整 用) 送電電力 ジン含む)	※12欠角電設備の補修停止等を考慮した即制口の最低 () 內は、全級備運転時 () 內は、全級備運転時 () 內は、全級備運転時 場水 () 四種、一個型 () 四種 ()	97.9 [49%] (211.7) [41%] 湯水動力① ▲ 11.0 ※ 11.0 ※ 11.0 ※ 10.1 (200.0) 0.0 (200.0) 278.0 (278.0) (140.0) (140.0) (140.0) (140.0) (140.0) (140.0) (140.0) 3.5 [76%] 	6月 前日計画② 0.0 6月 前日計画② 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 6月 前日計画② 4.5 0.3 4.8	4日(日) 差異(②-①) 11.0 4日(日) 差異(②-①) ▲ 103.1 0.0 ▲ 278.0 ▲ 140.0 ▲ 521.1 4日(日) 差異(②-①) 1.0 	差異理由(※) (u)  差異理由(※) (g) (g) (g) (g) —  差異理由(※)
優先給電ルー、電源Ⅲ(揚水) 優先給電ルー、 長周期広域線法 (連系線法 ※2 空音量 = (運・ ※2 空音量 - (運・ を対定策みの域外 - マージン (ΔkWマー	ルに基づく 数数調整 用) 送電電力 ジン含む)	※12九角電設備の補修停止等を考慮した即制口の最低。 ( ) 內は、全線備運転時	97.9 [49%] (211.7) [41%] 湯水動力① ▲ 11.0 過日15時時点 の空管器①※2 (選用容器) 103.1 (200.0) 0.0 (200.0) 278.0 (278.0) (140.0) 521.1 (618.0) 合意した最低 出力の※3 [世力率%] 3.5 [76%] 3.5	6月 前日計画② 0.0 6月 前日計画② 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 6月 前日計画② 4.5 0.3 4.8	4日(日) 差異 (②-①) 11.0 4日(日) 差異 (②-①) ▲ 103.1 0.0 ▲ 278.0 ▲ 140.0 ▲ 521.1 4日(日) 差異 (②-①) 1.0 - 1.0 4日(日)	差異理由(※) (u)  差異理由(※) (g) (g) (g) (v)   差異理由(※)
優先給電ルー、電源皿(揚水) 優先給電ルー、 優先給電ルー、 長周期広域陽話 (連系線の域外 - 利り定済のの域外 - マージン (ΔκWマー  「バイオマス専り	ルに基づく 数数調整 用) 送電電力 ジン含む)	※1火力與電設備の補條停止等を考慮人力制制口の最低 () 內は、全級備運転時 () 內は、全級備運転時 () 內は、全級備運転時 場水 () 內は、全級備運転時 場水 () 內は、全級備運転時 場水 () 一類制、調整 (5) 地域間)連系線 () 一類四間間直達系線 () 一類四間間連系線 () 阿爾紀北直流幹線) 合計 () 四個別間,連系線 () 阿爾紀北直流幹線) 合計 () 四個別面間,並系線 () 阿爾紀北直流幹線) 合計 () 四個別面間, () 四個別面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面	97.9 [49%] (211.7) [41%] 湯水動力① ▲ 11.0 ※ 11.0 ※ 11.0 ※ 10.1 (200.0) 0.0 (200.0) 278.0 (278.0) (140.0) (140.0) (140.0) (140.0) (140.0) (140.0) (140.0) 3.5 [76%] 	6月 前日計画② 0.0 6月 前日計画② 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 6月 前日計画② 4.5 0.3 4.8	4日(日) 差異(②-①) 11.0 4日(日) 差異(②-①) ▲ 103.1 0.0 ▲ 278.0 ▲ 140.0 ▲ 521.1 4日(日) 差異(②-①) 1.0 	差異理由(※) (u)  差異理由(※) (g) (g) (g) (g) —  差異理由(※)
優先給電ルー、 電源Ⅲ(揚水) 優先給電ルー、 長周期広域陽活 (連系線の域外 - 利度液液の域外 - マージン (ΔkWマー 原先給電ルー、 バイオマス専想	ルに基づく 数数調整 用) 送電電力 ジン含む)	※12九角電設備の補修停止等を考慮した即制口の最低。 ( ) 內は、全線備運転時	97.9 [49%] (211.7) [41%] 湯水動力① ▲ 11.0 ■日15時時点の空音器①※2 (選用容響) 103.1 (200.0) 0.0 (200.0) 278.0 (278.0) 140.0 (140.0) (140.0) (140.0) (140.0) (140.0) 3.5 [76%] 	6月 前日計画② 0.0 6月 前日計画② 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 6月 前日計画② 4.5 0.3 4.8	4日(日) 差異 (②-①) 11.0 4日(日) 差異 (②-①) ▲ 103.1 0.0 ▲ 278.0 ▲ 140.0 ▲ 521.1 4日(日) 差異 (②-①) 1.0 - 1.0 4日(日)	差異理由(※) (u)  差異理由(※) (g) (g) (g) (v)   差異理由(※)
優先給電ルー、 電源Ⅲ(揚水) 優先給電ルー、 長周期広域周活 (連系線) ※2 空容量 = (連) ※2 空容量 = (連) ※2 空容量 = (連) ※2 でので、(AKWマー パイオマス専り	ルに基づく 数数調整 用) 送電電力 ジン含む)	※12九角電設備の補係停止等を考慮した即制口の最低出行的目的。 () 內は、全致循環範疇 () 內は、全致循環範疇  「伊利、調整 (5)  発電所  場別、調整 (6)  地域間連系線 (三重東近江東線) 北陸関西間連系線 (三重東近江東線) 北陸関西間連系線 (阿南紀北直流幹線)  関西四国間遭来線 (阿南紀北直流幹線)  一部 (阿南紀北直流幹線)  「中部 (阿南紀北海山神線)  「中部 (阿南紀田神海)  「中部 (阿南紀北海山神海)  「中部 (阿南紀北海山神線)  「中部 (阿南紀北海山神海)  「中部 (阿南紀北海山神海)  「中部 (阿南紀北海山神海)  「中部 (阿南紀北海山神海)  「中部 (阿南紀北海)  「中部 (阿南紀北海)  「中部 (阿南紀北海)  「中部 (阿南田)  「中部 (阿南田)  「中部 (阿南田)  「中部 (阿南田)  「中部 (阿南田)  「中部 (阿南田)  「中部 (阿田)  「中部	97.9 [49%] (211.7) [41%] 湯木動力① ▲ 11.0 ■目15時時点 の定容器①※2 (周用容器) 1(200.0) 0.0 (0.0) (278.0) 140.0 (140.0) 521.1 (618.0) を意した最低 出力(140.0) 一 3.5 [四カ軍%] 3.5 「(四カ) (四カ) (四カ) (四カ) (四カ) (田カ)	6月4 前日計画2 0.0 6月0 前日計画2 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 6月0 前日計画2 4.5 0.3 4.8 6月0 前日計画2	4日(日) 差異 (②-①) 11.0 4日(日) 差異 (②-①) ▲ 103.1 0.0 ▲ 278.0 ▲ 140.0 ▲ 521.1 4日(日) 差異 (②-①) 1.0 - 1.0 4日(日)	差異理由(※) (u)  差異理由(※) (g) (g) (g) (y) —  差異理由(※) (v) —  理由A~C每(発電所数) (v),(w)
要先給電ルー、 電源Ⅲ(揚水) 要先給電ルー、 長周期広域周汚 (連系線) ※2 空容量 = (連) ※2 空容量 = (連) ※次で、 (ΔkWマー で、 (ΔkWマー がイオマス専歩	ルに基づい 数数調整用) 田湾電電力 ラン含む) ルに基づい 地に基づい	※19人內學電設備の補修停止等を考慮した即制日の最低 () 內は、全致循連範疇 () 內は、全致循連範疇 類電所 揚水 「抑制、調整 (6) 地域間連系線 (三重東西間面近正連線) 北陸関西間近正連線) 北陸関西間近正連線) 北陸関西間強系線 (河南紀北直流幹線) 関西四国間間連系線 (河南紀北直流幹線) 一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個	97.9 [49%] (211.7) [41%] 湯水動力① ▲ 11.0 過日15時時点の空質量①※2 (選用容量) 103.1 (200.0) 0.0 (200.0) 278.0 (278.0) (140.0) 521.1 (618.0) 合意した最低 出力の※3 [出力率%] 3.5 [76%] 3.5	6月 前日計画② 0.0 6月 前日計画② 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 6月 前日計画② 4.5 0.3 4.8 6月 前日計画②	4日(日) 差異 (②-④) 11.0 4日(日) 差異 (②-⑥) ▲ 103.1 0.0 ▲ 278.0 ▲ 140.0 ▲ 521.1 4日(日) 差異 (②-⑥) 1.0 - 1.0 4日(日) 差異 (②-⑥)	差異理由(※) (u)  差異理由(※) (g) (g) (g) (y) —  差異理由(※) (v) —  理由A~C每(発電所数) (v),(w)
優先給電ルー、 電源Ⅲ(揚水) 優先給電ルー、 長周期広域陽活 (連系線の域外 - 利度液液の域外 - マージン (ΔkWマー 原先給電ルー、 バイオマス専想	ルに基づく 数数調整 用) 送電電力 ジン含む)	※12欠角電設備の補修停止等を考慮した即制口の最低 () 內は、全該備運転時 () 內は、全該備運転時 () 內は、全該備運転時 () 別期 () 別期 () 別期 () 別期 () 別期 () 別期 () 別西門正則	97.9 [49%] (211.7) [41%] 湯水動力① ▲ 11.0 過日15時時点の空質量①※2 (選用容量) 103.1 (200.0) 0.0 (200.0) 278.0 (278.0) (140.0) 521.1 (618.0) 合意した最低 出力の※3 [出力率%] 3.5 [76%] 3.5	6月4 前日計画2 0.0 6月0 前日計画2 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 6月1 前日計画2 4.5 0.3 4.8 6月1 前日計画2	4日(日) 差異 (②-①) 11.0 4日(日) 差異 (②-①) ▲ 103.1 0.0 ▲ 278.0 ▲ 140.0 ▲ 521.1 4日(日) 差異 (②-①) 1.0 	差異理由(※) (u)  差異理由(※) (g) (g) (g) (y) —  差異理由(※) (v) —  理由A~C每(発電所数) (v),(w)
優先給電ルー、電源皿(揚水) 優先給電ルー、 長周期広域周波 (連系線) ※2 空音量 = (連) ※2 空音	ルに基づく を数調整 用) 用お電電電力 がジジン合む)	※12欠角電設備の補係停止等を考慮した即制口の最低 () 內は、全級備運転時 () 內は、全級備運転時 () 內は、全級備運転時 () 別事 () 內は、全級備運転時 () 別事	97.9 [49%] (211.7) [41%] 湯水動力① ▲ 11.0 過日15時時点の空質量①※2 (選用容量) 103.1 (200.0) 0.0 (200.0) 278.0 (278.0) (140.0) 521.1 (618.0) 合意した最低 出力の※3 [出力率%] 3.5 [76%] 3.5	6月4 前日計画2 0.0 6月0 前日計画2 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 6月1 前日計画2 4.5 0.3 4.8 6月1 前日計画2	4日(日) 差異 (②-①) 11.0 4日(日) 差異 (②-①) ▲ 103.1 0.0 ▲ 278.0 ▲ 140.0 ▲ 521.1 4日(日) 差異 (②-①) 1.0 	差異理由(※) (u)  差異理由(※) (g) (g) (g) (y) —  差異理由(※) (v) —  理由A~C每(発電所数) (v),(w)
優先給電ルー、電源皿(揚水) 優先給電ルー、 長周期広域周波 (連系線) ※2 空音量 = (連) ※2 空音	ルに基づいた。	※1火力與電影偏向補條停止等を考慮之力 () 內は、全級偏速転夠 () 內は、全級偏速転夠 () 內は、全級偏速転夠 () 內は、全級偏速転夠 場別 場別 場別 場別 場別 場別 地域間 調整 (6) 地域間 連束所団連承線 (阿爾紀北直流幹線) 同西四国間直流幹線) 同西四国間流流幹線) 合計 (阿爾紀北直流幹線) 合計 (阿爾紀北直流幹線) 一十 一十 一十 一十 一十 一十 一十 一十 一十 一十	97.9 [49%] (211.7) [41%] 湯水動力① ▲ 11.0 過日15時時点の空質量①※2 (選用容量) 103.1 (200.0) 0.0 (200.0) 278.0 (278.0) (140.0) 521.1 (618.0) 合意した最低 出力の※3 [出力率%] 3.5 [76%] 3.5	6月4 前日計画2 0.0 6月0 前日計画2 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 6月1 前日計画2 4.5 0.3 4.8 6月1 前日計画2	4日(日) 差異 (②-①) 11.0 4日(日) 差異 (②-①) ▲ 103.1 0.0 ▲ 278.0 ▲ 140.0 ▲ 521.1 4日(日) 差異 (②-①) 1.0 	差異理由(※) (u)  差異理由(※) (g) (g) (g) (y) —  差異理由(※) (v) —  理由A~C每(発電所数) (v),(w)
優先給電ルー、電源皿(揚水) 優先給電ルー、 長周期広域周波 (連系線活 ※2 空容量 = (連)・ ※2 空容量 - (連)・ ※3 空容量 - (連)・ ※4 空容量 - (連)・ ※4 空容量 - (連)・ ※5 空容量 - (連)・ ※6 空間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ルに基づく を数調整 用) 用お電電電力 がジジン合む)	※1火力発電設備の補修停止等を考慮した即制口の最低 () 內は、全致傳達素前 () 內は、全致傳達素前 () 內は、全致傳達素前 () 內は、全致傳達素前 () 內は、全致傳達素前 () 內は、全致傳達素前 () 一 地域間)連系線 () 一 地域間)連系線 () 三 重更近江連線 () 三 重更近江連線 () 三 重更近江連線 () 三 重更近江連系線 () 四 向 田間 連系線 () 四 向 田間 連系線 () 阿 向 田間 即連系線 () 阿 向 田間 即連系線 () 田間 即 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	97.9 [49%] (211.7) [41%] 湯水動力① ▲ 11.0 過日15時時点の空質量①※2 (選用容量) 103.1 (200.0) 0.0 (200.0) 278.0 (278.0) (140.0) 521.1 (618.0) 合意した最低 出力の※3 [出力率%] 3.5 [76%] 3.5	6月 前日計画② 0.0 6月 前日計画② 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 6月 前日計画② 4.5 0.3 4.8 6月 前日計画②	#日(日)  #日(日)  #日(日)  #日(日)  #日(日)  #日(日)  #月(日)  #月(日)	差異理由(※) (u)  差異理由(※) (g) (g) (g) (y) —  差異理由(※) (v) —  理由A~C每(発電所数) (v),(w)
優先給電ルー、電源皿(揚水) 優先給電ルー、 長周期広域線局 (連系線・運動・運動・運動・運動・運動・運動・運動・運動・運動・運動・運動・運動・運動・	ルに基づいた。	※12欠角電設備の補係停止等を考慮した即制口の最低 () 內は、全該備運転時 () 內は、全該備運転時 () 內は、全該備運転時 () 別事 電所 () 揚水 () 期襲 (5) 第 電所 () 規劃 (6) 地域間連 系線 (中部質 西間近江連線) 北陸関西間直近連系線 (三重東近江連線) 北陸関西間間連系線 (阿南紀北直流幹線) (阿南紀北直流神経) (阿南紀正直流神経) (阿和紀正直流神経) (阿祖紀正直流神経) (阿祖紀正直流神経) (阿和紀正直流神経) (阿祖紀正直流神経) (阿祖紀正直流神経) (阿祖紀正直流神経) (阿祖紀正直流神経) (阿祖紀正直流神経) (阿祖紀正直流神経) (阿祖紀正直流神経) (阿祖紀正直流	97.9 [49%] (211.7) [41%] 湯水動力① ▲ 11.0 過日15時時点の空質量①※2 (選用容量) 103.1 (200.0) 0.0 (200.0) 278.0 (278.0) (140.0) 521.1 (618.0) 合意した最低 出力の※3 [出力率%] 3.5 [76%] 3.5	6月 前日計画② 0.0 6月 前日計画② 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 4.5 0.3 4.8 6月 前日計画② 0.1 4.8 5.0	4日(日) 差異 (②-①) 11.0 4日(日) 差異 (②-①) ▲ 103.1 0.0 ▲ 278.0 ▲ 140.0 ▲ 521.1 4日(日) 差異 (②-①) 1.0 - 1.0 4日(日) 差異 (②-①) 0.1 - 0.1 4日(日) 3力帯2 5万kW	差異理由(※) (u)  差異理由(※) (g) (g) (g) (y) —  差異理由(※) (v) —  理由A~C每(発電所数) (v),(w)

 (i)下げ調整力確保
 (m)電力ケーブル入替工事(6/3 9:00~18:00)
 (q)周波数運転調整

 (j)重心水位考慮落差と静落差による換算差
 (n)設備改良に伴う停止(5/16~6/12)
 (r)設備改良後の有水試験

 (k)燃料消費促進制約(抑制不可)(6/1~6/18)
 (o)周波数調整に伴う出力抑制
 (s)発電実績差

 (l)設備点検工事(4/25~7/3)
 (p)上池水位上昇に伴う可能落ち
 (t)ボンブ並解列による運転差

(u)下池水位低下に伴う可能落ち (v)発電下限値の設定がシステム未対応(改修予定) (w)発電事業者から発電契約者に対する下限値連絡漏れ

#### (参考) 当日の需給実績

(単位:万kW)

(羊位: ///	,	関西エリア		
		場所		
		下げ調整力最小時刻	6月4日(日)	
			10時30分~11時00分	
天候·気温	天候		晴のち曇	
人际·XI/皿	気温(℃)		23.2	
(参考) 当日の 需給実績		(A) エリア需要	1,322.2	
		(F) 電源 I・II (火力)	135.2	
		⑤ 電源Ⅲ(火力)	101.3	
		(L) 原子力	491.7	
	エリア	(1) 一般水力	185.7	
	供給力	(H) バイオマス専焼電源	4.8	
	分がした	(I) 地域資源バイオマス	5.0	
		太陽光 (抑制量含む)	525.9	
		風力(抑制量含む)	1.2	
	-	エリア供給力計	1,450.8	
	揚水運転等	場水式発電機の揚水運転	▲ 235.6	
		電源Ⅲ揚水発電機の揚水運転		
	域外送電	(B) 約定済みの域外送電電力・長周期広域周波数調整	164.6	
	抑制	© 太陽光·風力抑制	▲ 57.6	
	供給力計		1,322.2	

### ○需給状況(別紙1)・当日の需給実績(別紙3)のイメージ図

エリア需要等・エリア供給力



※1:優先給電ルールに基づく出力抑制後のエリア供給力

※2:中部関西間連系線、北陸関西間連系線、関西中国間連系線、関西四国間連系線運用容量相当

※3:バイオマス混焼電源を含む

#### ○必要性(別紙1)のイメージ図

再エネの出力抑制を行う必要性と抑制必要量

